



I 第37週の発生動向 (2018/9/10~2018/9/16)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内とむつ保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 咽頭結膜熱については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 水痘については、むつ保健所管内で定点当たり報告数が0.75となり、注意報基準値(1)に近づいています。
5. ヘルパンギーナについては、上十三保健所管内で定点当たり報告数が5.33となり、警報開始基準値(6)に近づいています。

II 第37週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

小児科 内科	東青 (東地方+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数		
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点			
インフルエンザ														0		
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	11	1.22	16	1.60	19	3.80	3	0.50	2	0.50	55	1.31	10
	咽頭結膜熱	1	0.13			1	0.10	5	1.00	1	0.17			8	0.19	-2
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎			2	0.22	12	1.20	3	0.60	4	0.67	10	2.50	31	0.74	4
	感染性胃腸炎	18	2.25	10	1.11	45	4.50	7	1.40	9	1.50	9	2.25	98	2.33	1
	水痘			1	0.11	3	0.30	1	0.20	2	0.33	3	0.75	10	0.24	1
	手足口病	27	3.38	10	1.11	3	0.30	11	2.20	14	2.33	30	7.50	95	2.26	-9
	伝染性紅斑					2	0.20					1	0.25	3	0.07	0
	突発性発しん	1	0.13	4	0.44	8	0.80			4	0.67			17	0.40	1
	ヘルパンギーナ	6	0.75	7	0.78	19	1.90	2	0.40	32	5.33	3	0.75	69	1.64	-5
流行性耳下腺炎					6	0.60			6	1.00	1	0.25	13	0.31	0	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.09	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										6	6.00		6	1.00	0
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

結核 第2回

(二類全数把握対象疾患)

9月24日~30日は結核予防週間です。

結核は過去の病気ではなく、現代の病気です。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治する時代になりましたが、今でも毎年新たに1万8000人程度の患者が発生している日本の重大な感染症です。

結核菌は主に肺の内部で増え、咳、痰、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多いですが、肺以外の腎臓、骨、脳など身体のあらゆる部分に影響を及ぼすことがあります。また、結核菌に感染しても、必ずしもすぐに発症するわけではなく、体内に留まったのち再び活動を開始し、発症することがあります。

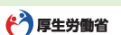
医療機関を受診する際には、いつもの風邪の症状とは異なる(長引く咳や痰、微熱や身体のだるさ等)を医師に伝えましょう。それによって正しい診断に早く至る可能性が高くなります。他の人への感染を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。[結核情報\(青森県HP\)](#)

青森県 結核 検索



正しい診断をより早く



それって、いつもの風邪ですか?



いつもと違うところを医師に伝えましょう

たとえば、このようなことに心当たりはありませんか?

感染症の正しい診断に役立つ情報

- 咳のからむ痰が2週間以上続いている
- 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている
- 最近、海外旅行から帰って来た
- 身体に濃いポツポツが出て来た
- 山遊びでダニに咬まれた跡がある
- 海外旅行で何度も蚊に刺された
- 耳の後ろのリンパ腺が腫れている感じがある など

こちらにチェックが入る場合には結核の可能性がります。

~長引く咳は結核かも~

結核予防週間 9月24日~9月30日

厚生労働省 結核 検索



平成29年9月

出典: 厚生労働省ポスター

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前1人 （2018年計：141人）
- ・レジオネラ症（四類全数把握対象疾患）：青森市1人 （2018年計：6人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：弘前3人、むつ1人 （2018年計：38人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第34週～2018年第37週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	H30.8.20 ~ H30.8.26	梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 百日咳3人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人
35	H30.8.27 ~ H30.9.2	百日咳1人	腸管出血性大腸菌 感染症3人 百日咳1人	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌 感染症3人	
36	H30.9.3 ~ H30.9.9	侵襲性肺炎球菌感 染症1人	百日咳1人				
37	H30.9.10 ~ H30.9.16	レジオネラ症1人	百日咳3人				百日咳1人

- ・第36週に青森市保健所管内で侵襲性肺炎球菌感染症1例の届け出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第34週～2018年第37週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
34	H30.8.20 ~ H30.8.26	2					
35	H30.8.27 ~ H30.9.2			1	2		
36	H30.9.3 ~ H30.9.9	1	1	2		2	
37	H30.9.10 ~ H30.9.16		1				

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第36週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	14725	3	114	2835	22	15	302	724	8	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	60	1	3	98	119	174	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	34	7	2	1306	6	568	155	1357	32

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	495	11	145	494	896	54	340	28	2351	301

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4675	130	82	51	5933	496	204	16

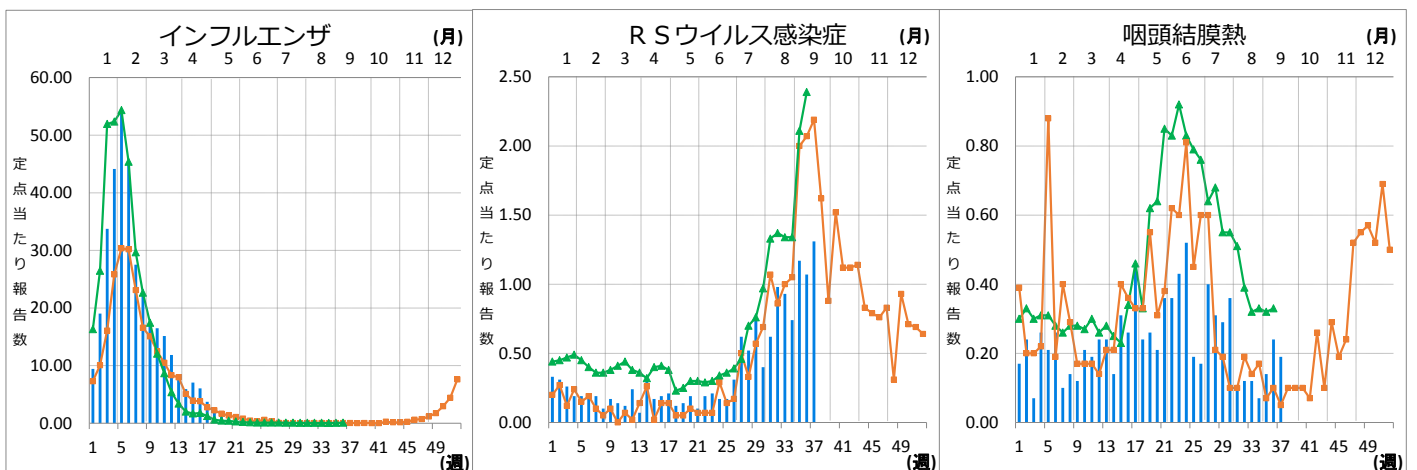
青森県（2018年第1週～2018年第37週までの累計）

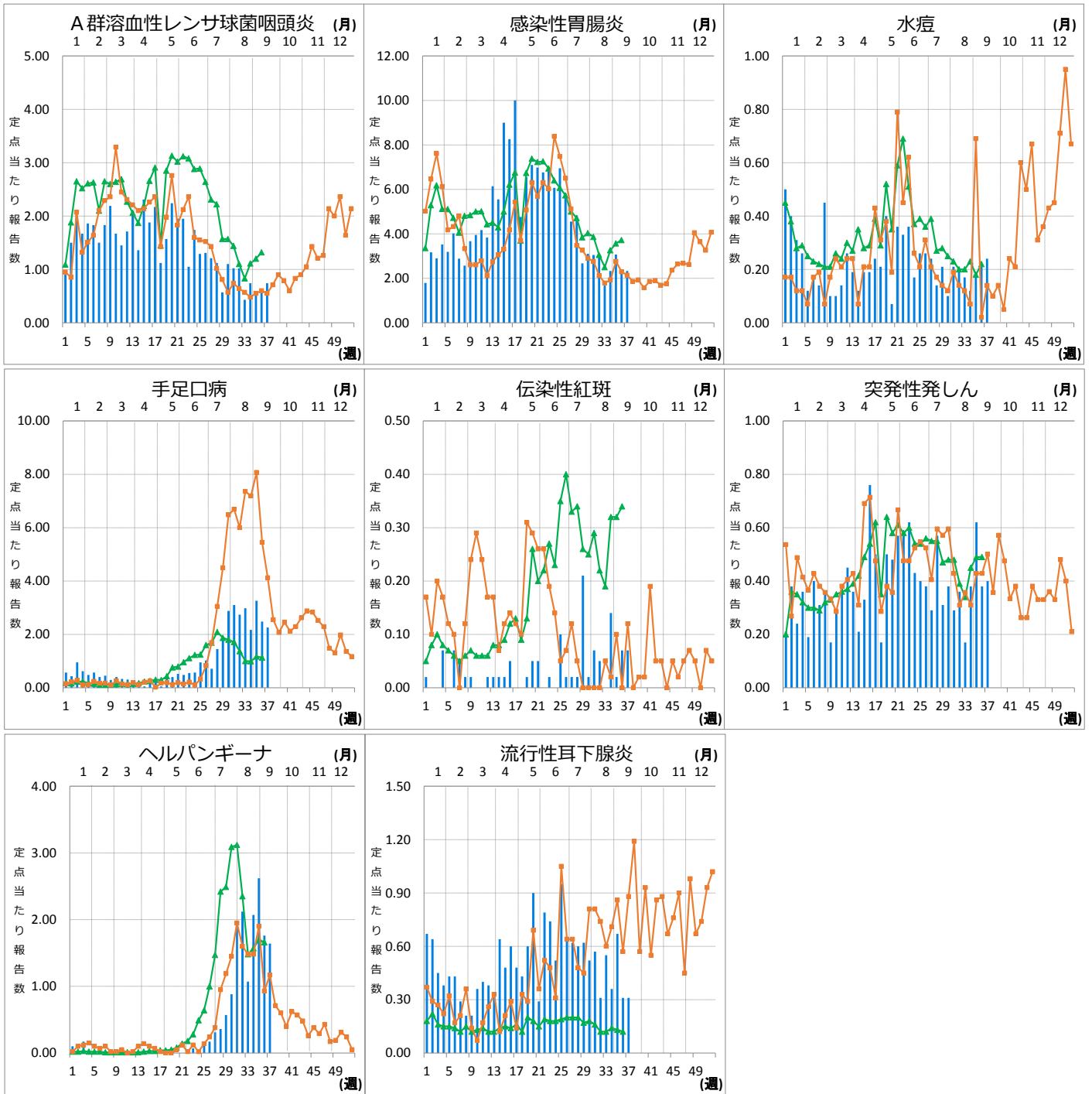
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	141	3	28	1	1	4	6	2	18	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	4	1	11	4	25	1	4	38

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第37週、ただし全国は前週）

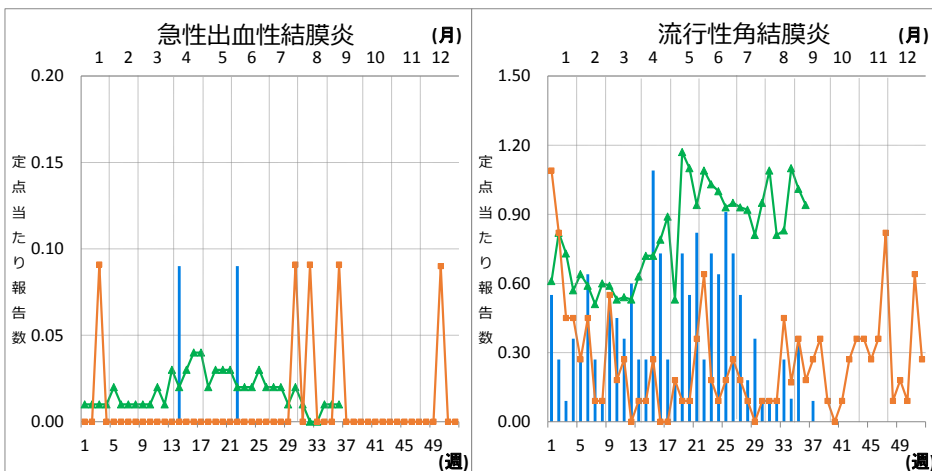
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





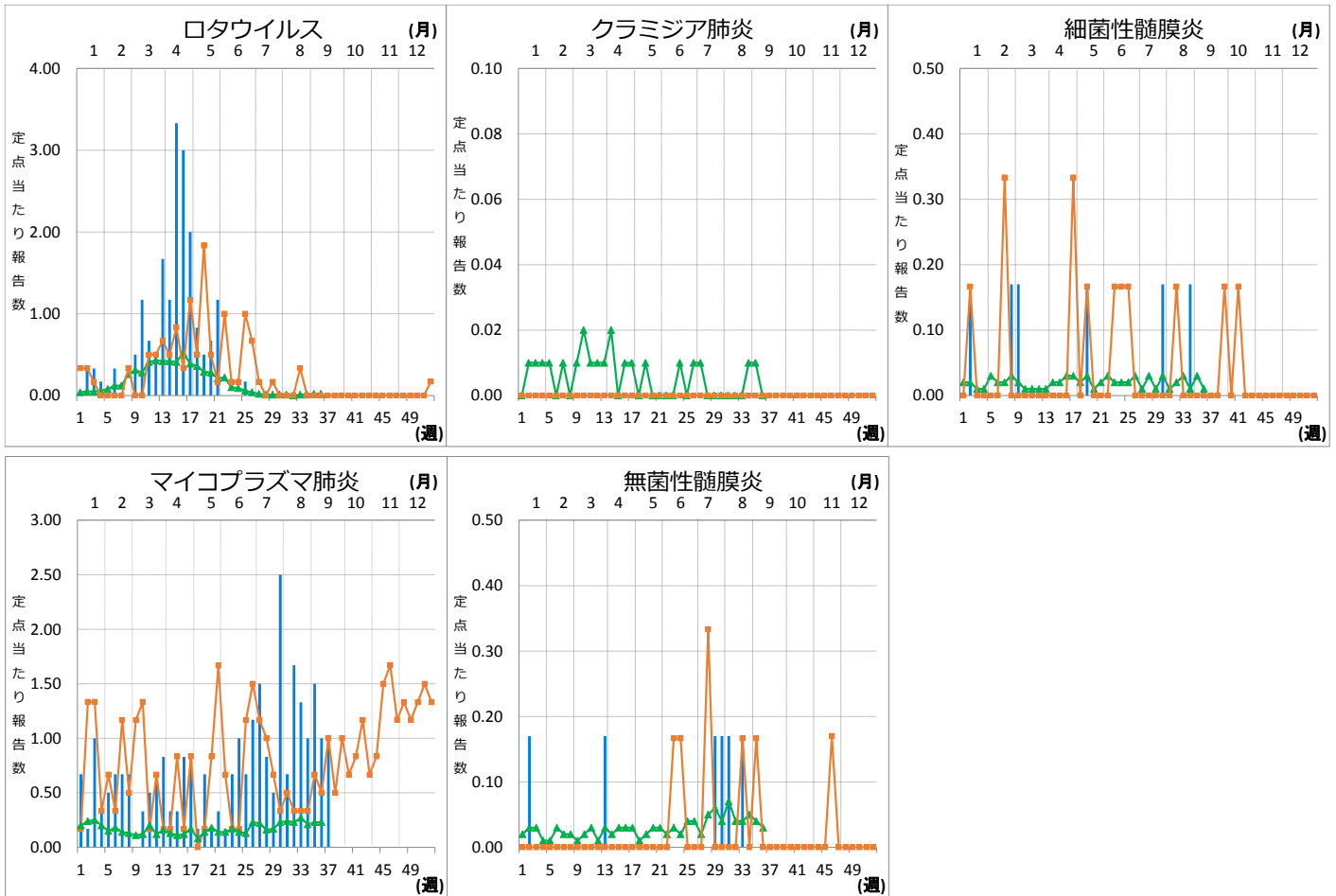
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第37週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■—は2018年青森県、—■—は2017年青森県、—▲—▲は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第37週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第37週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35週	36週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	0	212